

## 栄 浦 橋（栄浦）

- 栄浦橋は、ライトコロ川がサロマ湖に流れこむ河口にある鑑沸地区と栄浦地区をつなぐように架かっています。竣工は昭和47年9月。その後、平成18年12月に、橋の北側・湖側にサイクリングロードが付けられました。



\* 「とうふつばし」から見た栄浦橋



\* 栄浦側から見た栄浦橋：左側にサイクリングロード



\* 橋からライトコロ川の上流側を見て



\* 橋からライトコロ川河口・サロマ湖を見て



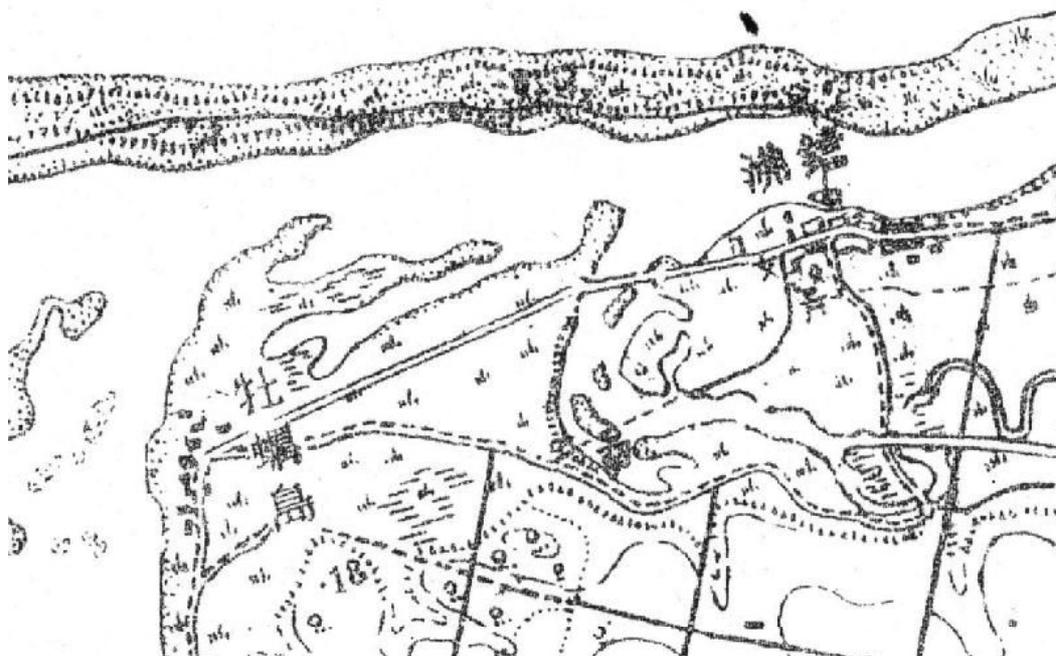
\* 栄浦橋に併設されているサイクリングロード



\* 橋からサロマ湖・鑑沸地区を見て

\* もっとも古い記録は、昭和18年8月4日「当直日誌」に「栄浦神社および栄浦橋竣工式」とありますが、昭和29年測量、昭和32年発行5万分の1地形図には、鑑沸と栄浦間にはまだ道路はなく、鑑沸から西9線道路を経て岐阜経由で栄浦に通じています。その地形図には、現在の「とうふつ橋」が記載されているので、もしかしたら当時は「栄浦橋」と呼んでいたのかもしれない。

\* 現在の栄浦橋および鑑沸から栄浦に至るサロマ湖公園線がどのようにできたのか正確なことは不明ですが、昭和31年4月作成の「常呂町全図」には鑑沸－栄浦間は道幅3m以上の町道として、橋も記載されています。



\* この常呂町全図には、昭和31年に設置された湧網線の乗降場（常呂港・土佐・東富丘）も記載されています。

\* 旧常呂町の当直日誌で判る「栄浦橋」に関する記述を表にしました。

和暦	西暦	月日	内容
昭和27年	1952	6月2日	栄浦道路測量
昭和30年	1955	1月17日	ライトコロ川切り替え工事箇所（救農）及び栄浦道路橋設置箇所調査
		11月21日	栄浦橋架け替えについて道路促進話し合い
昭和31年	1956	4月5日	網走開発建設部において栄浦橋新設工事入札
昭和32年	1957	5月1日	栄浦橋改修工事着手

\* 詳細は不明ですが、現在の栄浦橋の前身となった橋は、地図や年表から推測して、昭和31年頃にできたと考えられます。